

機械器具（47）注射針及び穿刺針
 管理医療機器 一時的使用麻酔用穿刺針 70203012

ディスポ皮下注入電極

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 併用医療機器 [相互作用の項参照]

- 電気手術器（電気メス）[電流密度が高いため、刺入部で熱傷を生じることがあります。]
- 除細動器 [電流密度が高いため、刺入部で熱傷を生じることがあります。]
- 磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）[誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがあります。]

2. 使用方法

- 本製品は一回限り使用のディスポーザブル品です。再滅菌、再使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】

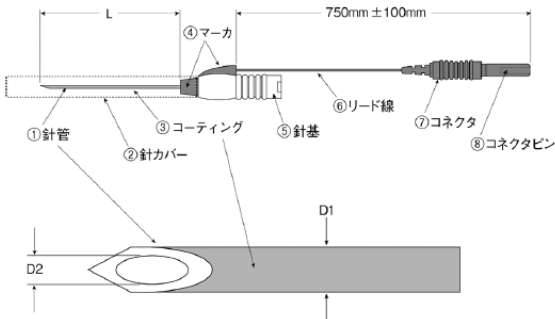
1. 品目の概要

本製品は、経皮的神経ブロック手技において、局所麻酔薬、神経破壊薬やボツリヌス毒素製剤等の薬液を中枢神経以外の神経組織あるいは筋に注入するために使用するエチレンオキサイドガス滅菌済み、単回使用の穿刺針です。また、薬液の適切な注入点を確認するために筋電図の記録および電気刺激を行うことができます。

2. 構成

名称・型式	個数
(1) ディスポ皮下注入電極	1
NM-125I	選択
NM-325I	
NM-337I	
NM-437I	
NM-450I	
NM-675I	

3. 形状および寸法



型式	針管の長さ Lmm (公差)	針管の外径 D1mm (公差)	針管の最 小内径 D2mm	マーカおよ びリード線 の色
*(1) NM-125I	25 (+1.5/-2.5)	30G (+0.02/-0.01)	0.13	赤
*(2) NM-325I	25 (+1.5/-2.5)	27G (+0.02/-0.01)	0.18	黄
*(3) NM-337I	37 (+1.5/-2.5)	27G (+0.02/-0.01)	0.18	橙

0654-905283D

型式	針管の長さ Lmm (公差)	針管の外径 D1mm (公差)	針管の最 小内径 D2mm	マーカおよ びリード線 の色
*(4) NM-437I	37 (+1.5/-2.5)	26G (+0.02/-0.01)	0.23	緑
*(5) NM-450I	50 (+1.5/-2.5)	25G (+0.02/-0.01)	0.23	青
*(6) NM-675I	75 (+1.5/-2.5)	22G (+0.02/-0.01)	0.39	紫

※コーティングの厚みは、外径の寸法および公差に含まれません。

4. 原理

本製品は、針基部に注射筒を嵌合し、中枢神経以外の神経組織あるいは筋に刺入し、局所麻酔薬、神経破壊薬やボツリヌス毒素製剤等の薬液を注入します。

針管は、先端部を除き、コーティングにより電気的な絶縁加工が施されています。露出した先端部は、筋電図の導出電極および電気刺激電極として機能します。

コネクタを筋電計あるいは電気刺激装置に接続し、筋電図の測定および組織への電気刺激を行い、的確な薬液の注入ポイントを同定します。

5. 原材料

名 称	原材料
(1) 針管	ステンレススチール
(2) コーティング	ポリテトラフルオロエチレン

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

本製品は、経皮的神経ブロック手技において、局所麻酔薬、神経破壊薬やボツリヌス毒素製剤等の薬液を中枢神経以外の神経組織あるいは筋に注入するために使用します。

また、筋電図の導出および組織への電気刺激としても用います。

【使用方法等】

1. 準備

- 穿刺部位の皮膚を消毒します。
- 筋電図を観察する場合、基準電極とニュートラル電極を体表面に装着し、装置に接続します。また、電気刺激を行う場合、陽極となる電極を体表面に装着し、電気刺激装置などに接続します。
- 本製品を汚染に注意し、包装より取り出します。
- 目視により、本製品に傷、汚れなどの異常がないことを確認します。

2. 使用方法

- 注射筒を針基へ嵌合し、針カバーを外して使用する薬液を吸引します。
- 目的の部位へ穿刺します。
- 必要に応じて、X 線あるいは超音波診断装置で刺入ルートの確認を行います。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- (4) 薬液の注入点を確認するため、必要に応じて (5) あるいは (6) の操作を行います。
- (5) 電極接続端子を装置に接続し、筋電図を観察しながら刺入を行い、目的となる筋を同定します。
- (6) 電極接続端子を電気刺激装置等に接続し電気刺激を行います。電気刺激による筋の収縮を確認し目的の部位を同定します。
- (7) 使用する薬液の添付文書に従って薬液を注入します。
- (8) 施術後、針を抜去し、刺入部位を適切に処置します。
- (9) 必要に応じ、他の部位に対して同様の手順により施術します。

* ※本製品と組み合わせて使用可能な誘発電位検査装置には、以下の既認証品があります。

販売名		認証番号
(1)	筋電図・誘発電位検査装置 MEB-2300 シリーズ ニューロバック X1	221ADBZX00003000
(2)	筋電図・誘発電位検査装置 MEB-9000 シリーズ	230ADBZX00092000
(3)	筋電計 MEM-8301 ニューロバック n1	226ADBZX00036000

3. 使用方法等に関連する使用上の注意

- (1) 開封後はすぐに使用してください。感染症を引き起こすことがあります。

【使用上の注意】

1. 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

(1) 併用禁忌(併用しないこと)

医薬品・医療機器の名称等 (一般的名称/一般名・販売名)	臨床症状・ 措置方法	機序・危険因子
1) 電気手術器 (電気メス)	使用禁止	電流密度が高いため、刺入部で熱傷を生じる
2) 除細動器		
3) 磁気共鳴画像診断装置 (MRI 装置)	MRI 検査を行うときは、本製品を患者から取り外すこと	誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがある

【保管方法及び有効期間等】

1. 耐用期間

本品は消耗品です。

※開封時に傷、破損があった場合、材料に変質が見られた場合は、無償交換いたします。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： 日本光電工業株式会社

電話番号： 03-5996-8000(代表)

外国製造業者： Technomed Europe (オランダ)

日本光電

日本光電工業株式会社

東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560

☎03-5996-8000 (代表) Fax 03-5996-8091

<https://www.nihonkohden.co.jp/>